

# 函館支部創立50周年記念を終えて



## ～感謝・決意、そして未来へ～

函館支部支部長 佐藤 聰

9月24日、秋晴れに恵まれる。

受付、式典会場、祝賀会場にコスモスの花を飾った。それは、メインの盛花のように華やかな感じはしないが、観る者の心を優しくし、しっかりと存在感を誇示していた。

心を込めて準備にあたった50周年の時を迎えた。その様子をダイジェスト版で。

午後2時、スタッフが集合。早速それぞれ決められた持ち場に散り、準備に取りかかった。私は、総監督の役割らしく隔々まで目配りして歩いた。みんな忙しく動き回っている中にも、どこか慶祝の雰囲気を感じさせているのがうれしい。

ご来賓の席と名札を綿密にチェックしながら確認する人、(やはり間違いがあった!)、感謝状、表彰状の確認と授与のリハーサルをする人、司会担当者は次第の確認とマイクテスト、(えー、本日は……)、それぞれが最終チェックに余念がない。

午後4時を過ぎると、来賓、一般会員の受付が始まり、次から次へと受付付近はあつという間に混雑した。あちらこちらでお祝いのあいさつが交わされた。

定刻10分前、式典会場へのご案内が始まった。会場内には、荘厳な迎賓のための曲が流れる中、ご来賓はそれぞれ指定席に着かれた。主賓が揃ったので、定刻いよいよ式典が挙行された。次第に沿って何事もなく、予定の一時間はあつという間に過ぎて無事終了。手前味噌ではあるが、なかなか品格のある式典であった。そして、全員記念写真に収まった。この集合写真は、後日皆さんに発送される「50周年記念誌・絆」の巻頭を飾る写真となるものである。

引き続きの祝賀会も、函館支部らしさを演出したプログラムにしたつもりである。

内容については、本会の会報委員である酒匂氏が紹介しているので省略するが、いずれにしても、心に残る、あつたかくて楽しい祝賀会となった。

ロビーで送賓の後、わたくしは、二次会……三次会と、久しぶりにはしごして午前様であったが、我が家にたどり着いたのが、なんと午前2時を回った丑三つ時であった。

したたか飲んだ割には、朝方すっきりと目が覚めた。いかにおいしくて、楽しいお酒であったことは間違いない。加藤会長をはじめ、常任役員、支部長の皆様には、ご多用の中をご参席いただき、まことに有り難く厚く御礼申し上げます。

このたびの50周年、半世紀に亘る先人達の貴重な働きによるさまざまな実りに、改めて感謝すると同時に、皆さんと共に新しい歴史の一ページを築いてまいりたいと思います。私がモットーとしてきた「和と団結」、奉仕する心を忘れずに、今後も一会員として、一兵卒となって(後日、このことばの真意について物議を引き起こしたらしい?さて…)、地域社会の中で、行政書士としての使命を果たしていきたいと思っております。そして、いつか次の走者に、汗と涙の染み込んだ伝統のタスキをバトンタッチし、50年後(2060年)の創立百周年を迎えている未来の支部の姿に期待したいと思います。

コスモスの花言葉は、《調和と真心》。行政書士のこれからの、幸多からんことを!!!本当にありがとうございました。



函館支部支部長挨拶



式典参列者